

## 主の昇天

第一朗読 使徒言行録 1・1-11

第二朗読 エフェソ 4・1-13

福音朗読 マルコ 16・15-20

2024.5.12 9:30 ミサ  
カトリック高円寺教会  
主任司祭 高木健次神父

今日わたしたちは主の昇天、イエス様が天に昇られたということを記念するごミサをお捧げしていますけれども、この「主の昇天」が意味するのは、わたしたちがどんな時にも、どんな場所においても、いつもイエス様と出会うことができる、ということです。イエス様が遠い所に行ってしまったということではない。むしろ、その逆なわけです。

弟子たちは復活したイエス様に何度も出会う体験をした。そして、そのイエス様のことを宣べ伝えていく間に、生前のイエス様に出会ったことがない人たちも復活したイエス様に出会っていつているっていうことを目撃していったと言えます。そういう特別な体験——イエス様は自分たちの思い出の中だけにいるのではないんだ、今も確かにわたしたちと共にいらっしゃるんだという体験を、なんとか言葉で表す、聖書を著わして<sup>あら</sup>いく段階になって、その経験を完全に表し尽くす言葉は見当たらないけれども、しかしそれをなんとか表現しようとするならば、「イエス様は天にいらっしゃる、昇られたんだ」という言い方以外に思い浮かばなかったということなんだと思います。

「空が、どんな所にいる人も同じ空を見上げることができるように、どの時代の人も、どの場所の人も、どんな時にもイエス様と直接出会うことができるんですよ——まさにこれがキリスト教が宣べ伝えようとしている信仰の中心でありますけど——それを改めて今日わたしたちが弟子たち、使徒たちから伝えられた聖書の言葉によって確認するわけです。

イエス様に出会う者がどのような世界に導かれていくのかということを、今度は、マルコによる福音が表現しています。「信じる者には次のようなしるしが伴う。悪霊を追い出し、新しい言葉を語る。手で蛇をつかみ、また、毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば治る。」(マルコ16・17-18) これも、イメージするなにか奇跡的なことだけではなくて、むしろ、イエス様からいただいた力によって良い影響を互いに与え合うことができるんだっていう確信が表されていると受け取ることができます。

わたしたちは互いに——朱に交われば赤くなるとも言われますけれども——悪い影響だったら簡単に与え合っちゃう。悪い言葉なんて子どもたちが幼稚園とか学校に行けば、どこでそんなこと覚えてくるのかっていうくらい簡単に、悪い影響は

広がります。でも、そういう悪い影響を与え合うっていうつながりの中ではなくて、むしろそういうつながりから出て、良いものを伝達し合うことができる、受け取ったり、そして渡したり、そういうつながりの中にイエス様の力によって導き入れられているっていう体験を、このマルコの福音書の言葉は表していると思うんです。

ですから、例えば、自分は子どもの頃とか成長の過程で「愛する」っていうことを教えてくれる、示してくれる良いお手本が周りにいなかったから、自分の中にも愛する力がないんだっていうところをもし恐れている人がいるならば、自分や過去に出会った人たちを見つめるのではなくて、イエス様に出会う、そのようにイエス様のほうを向く必要があります。

あるいは、なにか自分の心が閉ざされているなあ、意地悪な気持ちになっているなあ、いろんな周りの体験する辛い出来事とか、周りに悪い人がいるので影響を受けて自分の心も引きずられているなあと思うときに、そういう自分や周りの出来事ではなくて、イエス様ご自身に出会おうとする、その姿勢があつてこそ、その悪い循環から一歩抜け出していくことができるんだと思います。

使徒たちはそのためにエルサレムから出発して、全世界に福音を宣べ伝えるために派遣されていったし、その福音はわたしたちのもとにも届いているのだということに改めて信じたいと思います。

わたしたちがいろんな自分自身や周りの不完全な人々あるいは不完全なことから来るいろんな苦労とか出来事だけに囚われるのではなく、「自分に出会うように言っているのにどうしてわたしのほうを見ないのか。わたしと出会おうとして欲しい」って待っていらっしゃるイエス様のほうに心を向けることを、今日、このご昇天——イエス様のほうを向けばいつでも出会えるんだっていうことを表現しているこのご昇天を記念するごミサを通して思い起こしたい、イエス様にいつでも出会いながら、そこから力が得られるんだ、あるいはそこからしか力がないんだということをお思い起こしたいと思います。

それは、本当に信仰の世界ですから、「どうして」っていう理論で説明できる、そういうことじゃないです。でも「イエス様に出会えるんですよ」っていうことを一所懸命弟子たちをはじめ、教会は言い続けて来た。この信仰のうちに、わたしたち一人ひとりもそれぞれの中で、イエス様に絶えずより出会い直しながら、もっと深く出会いながら、関係を深めて、自分自身の限界ではなく、神様が、イエス様ご自身が導いてくれる新たな世界に踏み出して行くことができますように。イエスと出会うその恵みに改めて感謝しながら、このごミサをお捧げしたいと思います。

---

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>